

# 製本のススメ

Vol. 207

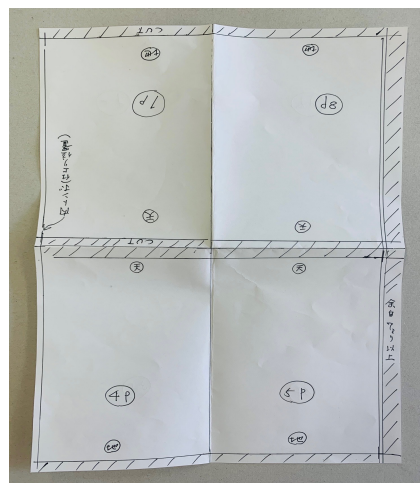
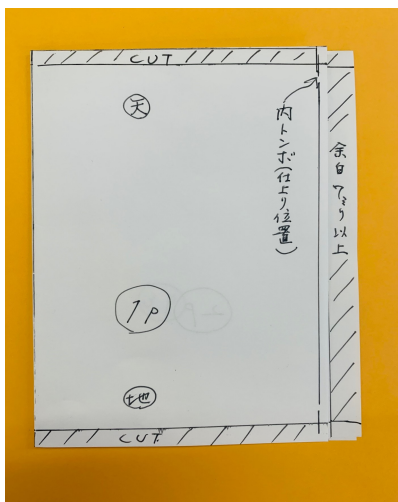
今年は週末というとお天気が悪く なかなか行楽日和とは行きませんね。それでも僅かな合間を縫い お出かけした方も多い様で電車の中にはお土産を沢山持った子供達がいきました。大人も子供も やはり遊ばないと我慢ばかりでは息苦しいですね。

今回は**余白説明(中綴じ編)第一弾の2**の話し

さて今回は余白の取り方についてご説明します。その前に**本文の縦書きと横書きでは冊子のレイアウトが違います**昨今 本文が縦書きなのに左開きという冊子を時々手掛けます。**意図的であれば良いのですが** そうではない場合が多く実に違和感のある加工を強いられます。これは**製本加工の常識に無いので特に注意をしないとミスを誘発させられます**。また余白の付け方も変わる為**エンドユーザーからそのような原稿が来た場合**には「少々違和感がありますね」とアドバイスしてあげてください。

ではまず左あき冊子の8頁(4ツ折)を例題に余白の取り方をお話いたします。

**左開きなので天側が袋**になります。それを踏まえて下の図を見てください



左は折丁の図  
右は展開図です  
右図で見ると片側に判位置が寄せています。この寄せた部分が中綴じにはとても大切な余白になります。この余白が無いと加工時間と金額が大きく変わります。



## Tea break

先日 東京都最高峰でもあり日本百名山でもある「雲取山」へ三峰神社側から登ってきました。アニメ「鬼滅の刃」主人公の炭次郎はこの山の生まれです。奥多摩は急登が多く山岳訓練には最適と言われますが、確かに厳しい坂道続きです。ここで炭を作り里まで売りに行くのは、大変な作業だなと思っていましたら 子供たちは軽々と登っており若いて凄いなと妙に感心しました。

弊社 HP は [www.isekiseihon.com](http://www.isekiseihon.com)

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本